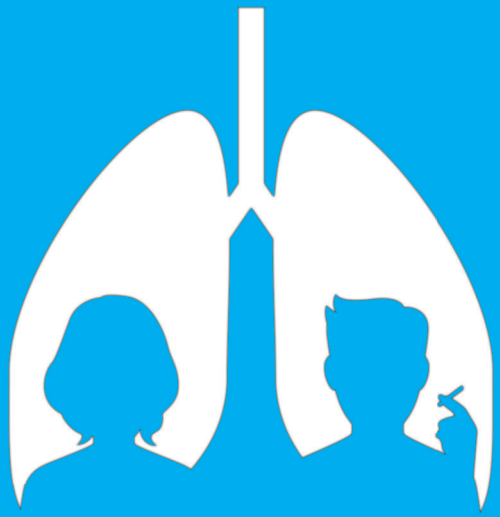
肺がん検診では、二重読影が国の基準で定められています。[※1]

２人の医師が、別々にチェック。

胸部レントゲンのフィルムは、
2人の医師がじっくり調べることになっています。
これが、肺がんの影を見落とさないために
国の基準で定められた、二重読影です。[※2]

肺がん死の
２人にひとりは、

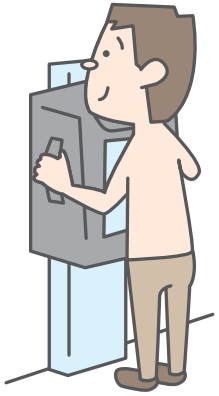
たばこが原因とはいえません。



たばこを吸わなくても、
肺がん検診を。

※1 厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
※2 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

一年に 5分 ください。



二人の医師が、
じっくり診ます。

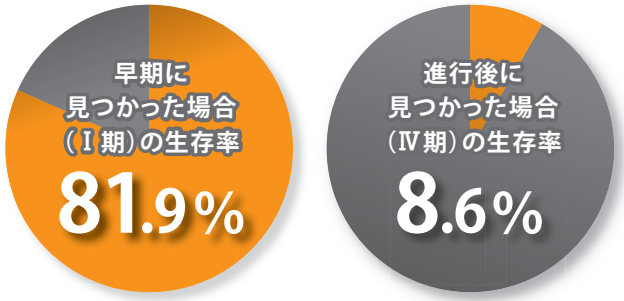
To:

From:

初期には自覚症状がほとんどないのが、肺がんの怖さです。

とくに肺の奥にできるがんほど、
咳や痰などの症状が出にくく、
気づきにくいのが特徴です。
自覚症状がないので、
初期の肺がんは検診でなければ
ほとんど見つかりません。

早期に発見すれば、生存率が高いがんです。※1



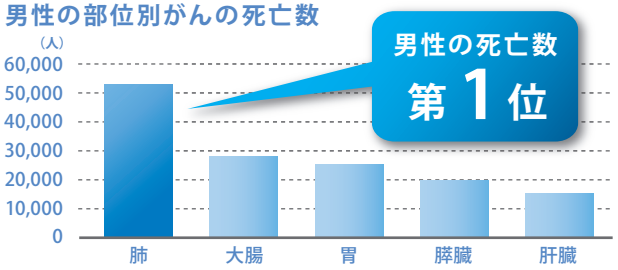
早期に発見するために、自覚症状がなくても
検診は毎年定期的に受けることを強くお勧めします
ただし、血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

たばこを吸う人は、たばこを吸わない人に比べて肺がんで死亡するリスクが高くなり、たばこを吸う本数や年数が多いほど肺がんになりやすいという研究結果が出ています。喫煙者本人のみならず、禁煙によってご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。

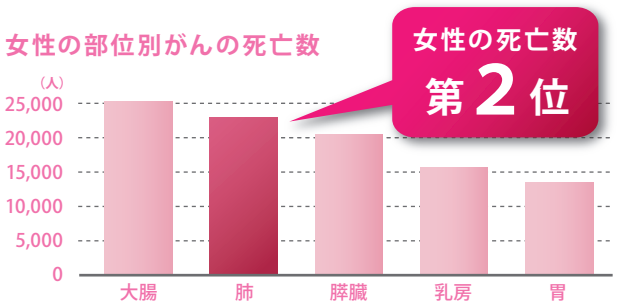
※1　ここでいう「生存率」とは、診断時からの5年純生存率（ネット・サバイバル）です。
純生存率は、「対象となるがんのみが死因となる場合」を推計した生存率です。
院内がん登録生存率集計報告書においても2014-2015年5年生存率から、相対生存率に代わりこの方法による純生存率が採用されています。
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」（2015年診断例）5年ネット・サバイバル

肺がんは、死亡数が男女合わせていちばん多いがんです。

男性の部位別がんの死亡数



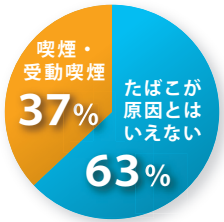
女性の部位別がんの死亡数



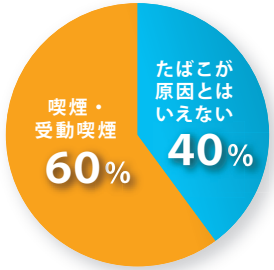
出典：国立がん研究センター がん情報サービス「最新がん統計」
人口動態統計（2023年）

肺がん死の2人にひとりは、喫煙者でも受動喫煙者でもありません。※2

女性だけでは…



肺がん死の原因（男女）



※2　Inoue M et al.（Ann Oncol 2012;23:1362-1369）をもとに推計

このリーフレットは、がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞が作成しました。

肺がん検診を受けるには

0. 市区町村からの案内や、市区町村ホームページで確認する

・今年度の助成対象かどうか、検査費用
・受診できる医療機関、日程、時間 など

1. 受診場所・受診日を選ぶ

2. 受診する

■ 受診内容
・問診　・胸のレントゲン撮影
・喀痰（かくたん）細胞診（問診により必要な方のみ）

3. 結果※3

約2～3週間後に自宅に郵送されます。
検査結果を確認してください。

検診で「要精密検査」となった場合は、
その後必ず精密検査を受けてください。

精密検査はCT、もしくは気管支鏡検査などです。

お住まいの市区町村から検査費用の助成があります!

多くの市区町村では、40歳以上の方に検査費用の助成があります。ぜひこの機会に受診してください。

※3　検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。（医療機関の検診精度向上のため）

検診について詳しくは

お住まいの市区町村のがん検診担当窓口にお問い合わせいただくか、市区町村のホームページをご確認ください。

〇〇市　がん検診　検索